

2019年12月15日 東京版第93号  
1950年12月16日 第三種郵便物認可(日本平和委員会)  
東京版発行 東京平和委員会  
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階  
Tel.03-5927-1485



# 平和新聞 東京版

## 怒りを込めて「オスプレイはいらない」を唱和 11・24東京大集会 2000人が結集

11月24日、横田基地のある福生市多摩川中央公園で、オスプレイ反対東京連絡会主催「オスプレイはいらない11・24東京大集会」が開かれました。

お天気が心配されましたが、昼前には虹も出て奥多摩の山並みが現れ始め、開会時刻の1時には、バスや電車で詰めかけた参加者は、2000名に達しました。



東京地方労働組合評議会の荻原淳議長が主催者挨拶。政党からは、日本共産党の笠井亮、宮本徹両衆院議員が参加し、「防衛省は米危険なオスプレイ配備を進め、飛行回数調査までやめてしまった。これでは日本の防衛省ではなく米国防衛省だ」と批判しました。立憲民主党国会議員と「れいわ新選

組」山本太郎代表からメッセージが寄せられました。福生市西隣の、あきる野市・村木英幸市長(野党共闘で10月に当選)からもメッセージが寄せられました。

気がいるけど、横田基地のことをもっと知って仲間に知らせたい」「核兵器廃絶の署名をもっと広げたい」と発言し、大きな拍手を受けました。

全国・近県からの連帯あいさつでは、安保放棄中央実行員会から東森事務局があいさつに立ち、全国での運動と地位協定改定の重要性を訴えました。陸上自衛隊木更津駐屯地への自衛隊オスプレイ17機の配備反対の運動をしている住民の会を代表して、「オスプレイくるな・いらぬ住民の会」の紙谷敏弘さんから、報告と連帯の挨拶を受けました。

リレートークでは、第2次新横田公害訴訟団事務局長の奥村さんがこの間の裁判闘争を報告。オスプレイ被害について、あきる野9条の会から前田さんが「危険な訓練があきる野でも広がっている」と報告。平和ゼミの高校生が「勇

**署名運動に取り組みを**  
「東京・横田基地からのCV-22オスプレイ部隊の撤退を求める請願」署名(あらまし紹介)  
\*東京都知事宛  
\*請願事項  
1 東京都として東京・横田基地からのCV-22オスプレイ部隊の撤退を米軍・日本政府に求めること。  
2 東京都として夜間・低空飛行・機銃の装備など危険なオスプレイの飛行・訓練の中止を米軍・日本政府に求めること。  
\*署名の締切り…2020年2月29日(第一次)、2020年5月31日(第二次)。

集会の最後に、オスプレイの撤退を求めるアピールを確認し、「東京・横田基地からのCV-22オスプレイ部隊の撤退を政府に求める」都知事あて署名の取り組みなどの行動提起を採択しました。  
\* 集会後、市街地から牛浜駅を通って第5ゲート前を国道16号線沿いに歩くアピール行進を行いました。  
\* 平和委員会は、羽村、福生、立川や日野など基地周辺をはじめ、目黒、中央、新宿、文京や豊島など23区内も含め10余の地域から約200名が参加しました。  
目黒平和委員会は、マイクバスで、平和委員会の他、土建、医療生協、議員さんなど15人が参加しました。  
\* 署名簿の裏に、一目で分かる解説付き  
・銃口 住民に向けて訓練  
・重大化する水質・土壌汚染  
・基地周辺には学校37校  
・オスプレイ配備×羽田増便 衝突・落下事故の危険増  
☆署名簿、宣伝リーフとも東京平和委員会事務局までご請求ください。



# 平和な島に基地はいらない 2019年宮古島・石垣島への支援連帯行動

平和委員会、安保破棄、沖縄統一連は、11月29日から12月1日までの3日間、陸上自衛隊ミサイル部隊の強行配備が狙われている宮古島市、石垣市の現地調査と住民運動のメンバーとの交流連帯行動に取り組みま



した。参加者は東京・大阪・京都・沖縄から22人が参加しました。

ウソとごまかし、でたらめな工事は、まさに安倍政権そのもの！

宮古島には、千代田基地の陸自弾薬庫・ヘリパット、野原の航自レーダー基地、ミサイル指揮所、保良地区には陸自の弾薬庫と射撃訓練場が建設されようとしていて、伊良部島の下地島空港の軍事利用が予想される施設があります。

当初、防衛省は「弾薬庫とヘリパットはつくりたくない」、「小火器を入れる保管庫」と説明していました。

しかし、与那国・奄美市に警備部隊・ミサイル部隊が設置され、東京新聞の取材に弾薬庫であると認めました。その後、防衛大臣が弾薬庫に中距離多目的誘導弾と迫撃砲弾を搬入したことを認め謝罪しました。その内容は「弾薬を保管するための施設は必要、しっかりと説明することになっていましたが、いまだに防衛省からも市長からも説明は

なされていません。市長は「基地問題は国の専権事項だから」といつて逃げ回っています。

宮古島の軍事要塞化、島民の生活が危ない！

閑静なメロン畑の前には、オレンジ色屋根の宿舎が立ち並んでいます。弾薬庫、700トンの燃料タンク、給油所などの軍事施設の地下は軟弱地盤で空洞がある地層で、基地の真ん中を断層が走っているのに、地盤改良はされていません。

全島は地下水で生活しています。「基地配備で地下水が汚染される恐れがあり生活できなくなる」と心配の声が広がります。また、千代田では弾薬庫と民家の距離が75mと近く、保良は200m。半径500m以内に集落があり、災害や弾薬庫火災が起きた場合には大惨事が想定されます。

「普通の暮らしを守りたい！」2日、3日目、石垣島へ

防衛省の説明では、石垣島への陸自配備には地对艦誘導弾（ミサイル）部隊、中距離地对空誘導弾（ミサイル）部隊、警備部隊、人員500〜600人。建設予定地は、平得大俣の東側にある市有地及びその周辺

に及びます。

3日目は、3台の車で「9条の碑」「マラリア慰霊碑」、基地建設の予定地全体が一望できる「渡り鳥観測展望台」などを視察しました。その後、建設予定地入口前で抗議行動を行いました。

現在、自然保護・環境団体とも連携して運動が行われています。

「島の未来は、市民が決める」「島のどこにもミサイル基地はいらない」「島の豊かな自然、文化、伝統を次世代に引き継ぐ責任がある」「普通の暮らしを守りたい」、「《中国が攻めてくる》というデマ宣伝に負けない」「石垣島の安全には対話が一番」と、訴えを広げています。

（写真は、宮古島自衛隊基地建設現場。防衛省が保管庫と称する弾薬庫）  
報告と写真・佐藤恵美

## 文京平和委員会から報告

「日米地位協定の見直しを求める請願」再び不採択  
文京では、先に「文京九条の会連絡会」が表記の請願を文京区議会に提出しましたが、総務委員会（9月26日）では可否同数とな

り、委員長採決で不採択となりました。

そこで文京平和委員会では、同趣旨の請願を再度11月15日に提出し、12月5日の総務委員会で審議されましたが、前回とまったく同じ結果となりました。

総務委員会・9名で構成（委員長1、自民）賛成・未来1、市民1、共産1、創1。反対・自民2、公明1、永久（とわ）1。

自民「理想は結構だが、協定をなくしたらどうなのか」、公明「既になされているものだから」など。今回はどの反対議員も、「主旨はわかるが、実施は現実的でない」と述べているのが特徴的。主旨に頭から否定しにくいがための、苦衷の言い訳に聞こえました。

## 平和祈念館の実現を

報告・川田正美

12月5日、豊島区民センター会議室にて、「東京空襲犠牲者を悼み『東京都平和祈念館（仮称）』建設を！19周年のつどい」が開かれました。

第一部トーク集会では、東京歴教協・東海林次男さんが「『軍事都市東京』と東京空襲」を報告。16歳の

とき東京大空襲に罹災した築山実さんから「東京空襲被害体験と墓誌建立」と題して証言をいただきました。第2部「平和祈念館建設をすすめる会第20回総会」では、柴田桂馬さんが活動報告と20年度運動方針を提案し採択。最後に祈念館実現を訴えるアピールを採択し閉幕しました。

## これからの予定

二〇二〇年

1月

7日（火）代表理事会  
11日（土）

原水協・平和委員会共催  
新春のつどい

13時半〜ラパスホール  
19日（日）横田基地座り込み行動 13時半〜

フレンドシップパーク  
21日（火）常任理事会

18時半〜 事務所  
25日（土）

全国基地問題交流集会  
11時〜16時

平労センター2階  
主催・安保中央（実）

2月  
1日（土）日本平和委員会結

成70周年の集い  
11日（火・休）

百里初午まつりバスツアー  
参加費4000円